

大河原土木事務所

平成29年度 復旧・復興カレンダー

4月16日 白石川復興パネル展示



大河原桜まつり開催に合わせて白石川右岸で、スマイルリバーサポーターとともにイベントを実施し、県では東日本大震災の復旧状況等のパネル展示を行いました。

7月31日, 8月2日 親子現場見学会



姥ヶ懐トンネル工事現場を、小学生の親子を対象に、見学会を実施しました。

8月21日～25日 平成29年度夏期実習生の受入



大学で主に土木を専攻している学生を実習生として受け入れ、優秀な技術者の養成及び土木行政に対する理解の醸成を図りました。

12月18日～22日 第1次災害査定



10月の台風21号に対する公共土木施設災害復旧事業の現地査定が行われ、河川8箇所、道路2箇所ですべて1億95百万円の決定を受けました。

2月23日 (都)小池石生線都市計画決定



村田町内の都市計画道路「小池石生線」の都市計画変更決定がなされました。

2月27日 中島踏切開通



(主)白石柴田線の東北本線中島踏切について、平成29年8月から全面通行止めにより拡幅工事を行っていましたが、完成により供用開始しました。

3月8日 スマイルサポーター意見交換会



スマイルサポーターの皆様との意見交換会を開催しました。日頃の活動状況や意見をお聞きする貴重な機会となりました。

4月21日 蔵王エコライン開通



3月から除雪を始めていた県道白石上山線蔵王エコラインの冬期通行止めが解除され、開通式が行われました。

6月8日～14日 土砂災害防止月間パトロール



土砂災害防止月間に合わせて、市町の職員や砂防ボランティアの方々とともに、管内2市7町の土砂災害危険箇所のパトロールを実施しました。

8月4日 菅生スマートIC連結許可



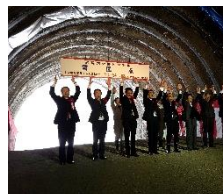
菅生スマートICと接続する県道仙台村田線の連結許可が、国土交通省より出されました。

12月27日 協定締結



土砂災害警戒情報が出された際の、土砂災害危険箇所の点検について、みやぎ中小建設業協会と協定を締結しました。

1月24日 志賀・姥ヶ懐トンネル貫通式



(主)岩沼蔵王線の志賀・姥ヶ懐トンネルL=1,285mの工事を平成28年6月に着工し、1年7ヶ月かけて貫通することができました。

1月30日 蔵王山噴火警戒レベル2



蔵王山の火山活動が活発となり、2年9ヶ月振りに噴火警戒レベルが1から2にあがり、対応を行うとともに、レベルアップに備え対応手順の確認を行いました。

3月17日, 24日 白石川河川清掃



白石川において、4月のさくらまつりに向けて、大河原町・柴田町それぞれで、町や地域住民の方々などと協力して河川清掃活動を行いました。

1. 事業目標

以下の目標のもとに、仙南地域の暮らしの安全・安心を支え、豊かさを実感できる県土づくりを推進する。

- ◇ 震災復興後を見据えた、新たな施設整備と既存施設の維持管理とのバランスの取れた社会資本整備の推進
- ◇ ゲリラ豪雨や蔵王山噴火等、仙南地域の特有な地勢条件を踏まえた災害に強い社会資本整備の推進

2. 主な施策

- ◆仙南地域の産業振興や広域防災のための道路ネットワーク整備推進
 - ① 広域幹線道路ネットワークを形成する東西交通軸の整備
 - ② 地域連携を強化し地域活性化を支援する郡界道路の整備
 - ③ 地域間の交流を支援する幹線道路の整備
- ◆防災・減災の強化
 - ① 地震等の災害に強い道路の整備推進
 - ② ゲリラ豪雨による浸水被害や土砂災害を防止する河川・砂防事業の推進
 - ③ 蔵王山噴火に備えた防災体制の強化
- ◆仙南地域の住民の日常生活を支える土木建築行政の推進
 - ① 歩行者の安全・安心で快適な空間確保のための歩道整備の推進
 - ② 県境を結ぶ幹線道路の除雪体制の強化
 - ③ 多様な主体との連携による道路、河川の維持管理体制の強化
 - ④ 住まいに関わる許認可・相談の円滑な推進

3. 主要な事業

- ◆仙南地域の産業振興や広域防災のための道路ネットワーク整備推進
 - ① 広域幹線道路ネットワークを形成する東西交通軸の整備の推進
 - ・ 国道 113 号 福岡蔵本道路改良事業（白石市）
 - ・ 国道 286 号 支倉道路改良事業（川崎町）
 - ・ (都)小池石生線末広町街路事業（村田町）【新規】
 - ② 地域連携を強化し地域活性化を支援する郡界道路の整備の推進
 - ・ 主要地方道 岩沼蔵王線 大師・姥ヶ懐道路改良事業

(村田町・柴田町・岩沼市)

・主要地方道 白石丸森線 大張館矢間道路改良事業(角田市・丸森町)

③ 地域間の交流連携を支援する幹線道路の整備の推進

・主要地方道 仙台村田線 菅生スマートIC 整備事業(村田町)【新規】

・主要地方道 白石丸森線 大鷹沢大町道路改良事業(白石市)

・主要地方道 丸森柴田線 坂津田道路改良事業(角田市)

・一般県道 蔵王大河原線 新寺道路改良事業(大河原町)

◆防災・減災体制の強化

① 地震等の災害に強い道路の整備推進

・一般県道 大河原高倉線 大河原大橋橋梁耐震補強事業(大河原町)

・国道 113 号 丸森霊山線 丸森橋耐震補強事業(丸森町)

・主要地方道 南蔵王七ヶ宿線 福岡八宮災害防除事業(白石市)

② ゲリラ豪雨による浸水被害, 土砂災害を防止する河川・砂防事業の推進

・平家川河川改修事業(白石市・蔵王町)

・小田川河川改修事業(角田市)

・雉子尾川河川改修事業(丸森町)

・南台沢通常砂防事業(白石市)

・小屋館沢通常砂防事業(丸森町)

・土砂災害警戒区域等指定の推進

③ 蔵王山噴火に備えた防災体制の強化

・松川火山砂防事業(蔵王町)と火山噴火対策の推進

◆仙南地域の住民の日常生活を支える土木建築行政の推進

① 歩行者の安全・安心で快適な空間確保のための歩道整備

・国道 349 号 小坂歩道整備事業(角田市)

・一般県道 角田柴田線 神次郎歩道整備事業(角田市)

・国道 286 号 今宿歩道整備事業(川崎町)

・国道 113 号 関消雪施設整備事業

② 県境を結ぶ幹線道路の除雪体制の強化

・国道 113 号及び国道 349 号等の県際道路の除雪体制の強化

③ 多様な主体との連携による道路・河川の維持管理体制の強化

④ 住まいに関わる許認可・相談等の円滑な推進

4. 復興事業 ((主) 岩沼蔵王線 志賀・姥ヶ懐トンネル 貫通式)

主要地方道岩沼蔵王線は、岩沼市を起点とし、村田町を経て、蔵王町に至る幹線道路であり、東北縦貫自動車道と仙台東部道路のアクセス道路であるとともに、仙台空港と内陸部を結ぶ東西軸として位置づけられている重要な路線である。

岩沼市大師地区から村田町姥ヶ懐地区までの約 3.7km区間は、屈曲カーブが多く狭隘で線形が悪い峠道となっており、東日本大震災時には、復旧車両等の通行に支障を来たしたことなどから、災害時にも有効に機能する「防災道路ネットワーク」の構築のため、復興予算にて事業を進めている。

平成 24 年度より順次事業に着手し、平成 28 年 6 月 4 日にトンネル工事に着手し、1 年 8 ヶ月をかけて掘削を進め、平成 30 年 1 月 24 日に貫通式を行った。

- 開催日時 平成 30 年 1 月 24 日(水)
- 開催場所 村田町姥ヶ懐地内(村田側坑口付近)
- 内 容 挨拶, 祝辞, 貫通発破, 和太鼓演奏
- 出 席 者 【主催側】宮城県土木部次長, 大河原土木事務所長

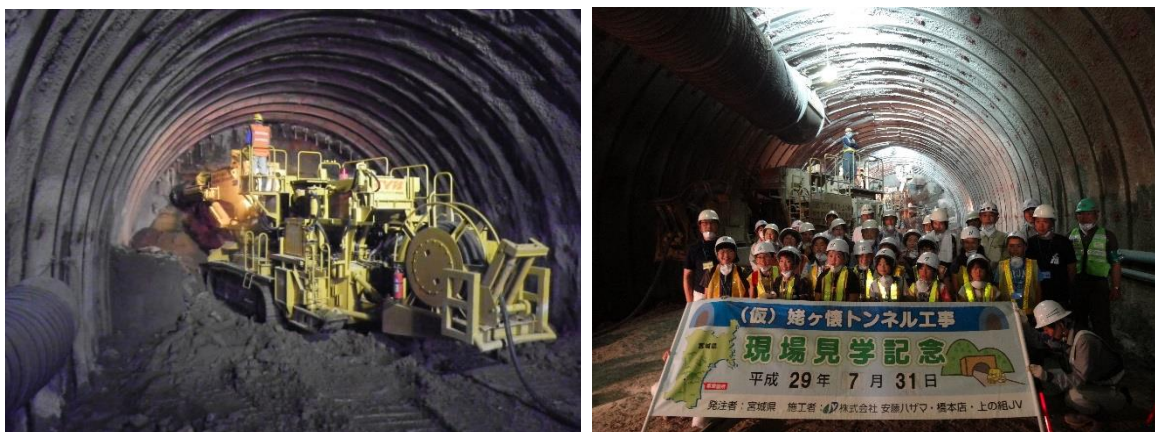
安藤ハザマ・橋本店・上の組特定建設工事共同企業体

【来 賓】岩沼市長, 村田町長, 柴田町長, 蔵王町長(副町長代理), 地元選出県議会議員, 地元市町議会議員, 地元区長, 関係機関

平成 30 年 1 月 24 日貫通式及び式典状況



トンネル工事着手後の写真



5. 7年目の課題

【課題】

- 1 震災復旧復興事業完了後の地域建設産業の振興
震災復興後の建設投資額の減少下での担い手確保, 技術力の低下に対する官民連携対応
- 2 設計委託業務の低価格競争激化
- 3 橋梁を主とするインフラ老朽化の進行
- 4 投資額減少下でのインフラ整備要望への対応

【対応】

- 1 新みやぎ建設産業振興プランの推進
道路, 河川等管理委託業務の集約化・複数年化, 週休二日・女性活躍モデル工事拡大, ASP 工事の拡大, 親子現場見学会や出前講座による広報拡大
- 2 建設関連業務における総合評価方式の拡大
- 3 現状の把握, 優先順位の精査, 実施
- 4 きめ細やかな対応と, 地元と供に最適解を見極めるコラボ事業の拡大

道路施設の再生・復興状況の写真



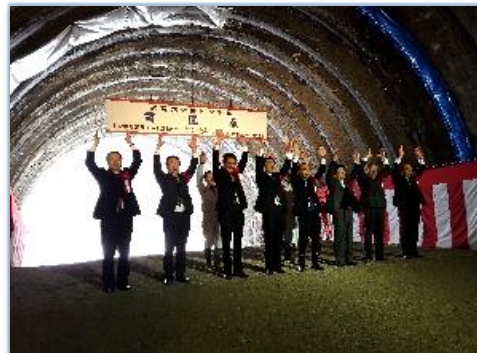
国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



① (主) 岩沼蔵王線 岩沼市志賀地内
トンネル坑口起点

施工中



① 平成30年1月24日
貫通式

着工前



② (主) 白石柴田線 白石市白川津地内
中島踏切

完成



② 平成30年2月27日
開通

着工前



③ (一) 大河原高倉線 大河原町大谷地内
大河原大橋歩道拡幅

完成



③ 平成30年3月
完了

着工前



④ (国) 113号 白石市福岡蔵本地内
道路改良事業

施工中



④ 平成30年3月 現在
施工中

着工前



⑤ (主) 白石丸森線 白石市大鷹沢大町地内
道路改良事業

施工中



⑤ 平成30年2月 現在
施工中

河川施設の再生・復興状況の写真



着工前



① 雉子尾川 丸森町大内地内
排水樋門工事 着手前

完成



① 平成30年3月
完了

着工前



② 平家川 蔵王町 宮地内
河道掘削工事着手前

施工中



② 平成30年3月 現在
施工中

平成29年度 復旧・復興カレンダー

5月3日～5日 広瀬川で遊ぶを開催

関係機関との共同開催、河川行政への理解向上を目的として開催しました。



5月22日 松ヶ浜地区海岸災害復旧工事の完成



7月28日 赤井江橋の供用開始

社会資本整備総合交付金(社河川復興)事業で整備を進めてきた一般県道岩沼海浜緑地線の赤井江橋L=15mが完成し、供用開始しました。



9月13日 スマイルサポーター功績者表彰式を開催



スマイルロード8団体、スマイルリバー1団体に対し、知事感謝状を贈呈しました。

10月11日 川内沢川の完成

川内沢川河川災害復旧工事(その6)L=372.5mが完成し、橋梁6橋の架け換えを含む災害復旧区間の全延長L=3,390mが完成しました。



3月6日 築港大通線の完成

地盤沈下による浸水対策として、平成23年度より嵩上道路として整備を進めてきた(都)築港大通線L=300mの区間が完成しました。



3月23日 西川橋の供用開始

伸縮装置、支承の損傷に加え、両橋台基礎杭頭部がせん断破壊を起こすなど大きな損傷が確認されていた西川橋L=109.6mの架設が完了し供用開始しました。



4月9日 梅田川・藤川河川愛護会 早朝一斉清掃への参加



5月29日 七北田川クリーン運動の開催

7月14日 菖蒲田復旧・復興事業竣工式を開催

海岸堤防・復興道路の約9割が完成し、菖蒲田海浜公園の整備も完了したことから、七ヶ浜町と共催で竣工式典を開催しました。



昨年度にプレオープンした菖蒲田海水浴場については、翌日からフルオープンしました。

9月20日 二の倉道路改良工事の完成



平成24年度から避難路として整備を進めてきた(一)岩沼海浜緑地線の復興道路L=362mが完成し供用開始しました。

1月30日 戸花川河川災害復旧工事のその2工区完成

戸花川河川災害復旧工事の一部区間が完成しました。引き続き全区間の完成に向けて、他工区の工事を進めて参ります。



2月17日 明治港穴公園リノベーション事業着手式を開催

岩沼海浜緑地公園(北ブロック)にて桜の植樹を実施しました。



3月17日 貞山運河「桜」植樹会を開催 ～復興・そして未来へ～in岩沼海浜緑地公園



岩沼海浜緑地(北ブロック)にて桜の植樹会を実施し、寄附提供者やボランティア、地元町内会の方々と55本の桜を植樹しました。

(1) 事務所の動き

宮城県社会資本再生・復興計画再生期(第2次アクションプラン)の最終年度である平成29年度は、東日本大震災からの復旧・復興の更なる加速化と災害に強い安全・安心な地域づくりに向けて、自治法派遣職員26名を含む職員162名(H29.4.1現在)が一丸となり各種事業を推進した。また、震災の復旧・復興に加え平成28年度から行っている東部土木事務所業務支援や10月22日の台風21号による災害対応など、よりマンパワー不足に拍車がかかっているため、積算業務や監督支援業務などを活用して職員の負担軽減を図っている。

平成29年度の事業費は、現年予算236億円と繰越予算386億円を合わせて622億円で、このうち東日本大震災の復旧・復興事業が492億円で全体の79%を占めている状況である。

復旧・復興事業が円滑に進むための取り組みとして、年度当所に市町村と連絡調整会議を開催し、各事業間の調整や市町村からの意見及び要望等について協議している。また、建設業協会3支部との意見交換会を開催し、工事を進める上での問題点や懸案事項等を聞き取り、所内で情報共有して解決に向け取り組んでいる。

(2) 災害復旧事業

当事務所管内の公共土木施設災害復旧事業は、全470箇所のうち、469箇所に着手し、449箇所(約96%)で完了した。また、金額ベースでは、全体事業費1,398億円に対して、完成が289億円(約21%)となっているが、出来高支払いベースでは1,109億円(約79%)であり、着実に事業が進んだ一年となった。

道路事業では、内陸部で唯一未完了であった(主)大和松島線西川橋が完成し、また、未着手であった(主)相馬互理線の2橋の旧橋撤去を発注し、道路事業は全て着工済みとなった。

河川事業では、用地取得で懸案となっていた七北田川蒲生地区について、任意による契約を締結することができた。また、海岸事業では、関係機関との調整が難航していた野々島平和田海岸と朴島毛無崎海岸について年度内に工事を発注し、全ての海岸災害箇所で着手済みとなった。

東日本大震災 災害復旧事業の進捗状況(H30.3月末現在)

		全体	完成	工事中		未着手	完成率 (%)	着手率 (%)	支払ベース	
				工事費	支払額				金額	進捗率 (%)
道路関係	箇所	361	358	3	—	0	99%	100%		
	金額(億円)	188.9	144.5	44.4	12.6	0.0	76%	100%	157.1	83%
河川関係	箇所	109	91	17	—	1	83%	99%		
	金額(億円)	1208.7	144.2	1064.2	807.7	0.3	12%	100%	951.9	79%
全 体	箇所	470	449	20	—	1	96%	100%		
	金額(億円)	1397.6	288.7	1108.6	820.3	0.3	21%	100%	1109.0	79%

平成 29 年度の完成箇所は、下記の 9 事業である。

○道路事業 (主)大和松島線 西川橋

○河川海岸事業 五間堀川(2), 川内沢川, 野々島海岸8, 朴島海岸3, 朴島海岸4,
小白浜海岸, 菖蒲田地区海岸, 松ヶ浜海岸

(主)大和松島線 西川橋

菖蒲田地区海岸



(3) 復興事業

①復興交付金事業

被災市街地復興土地区画整理事業や防災集団移転促進事業など、市・町の復興まちづくりを支援する復興道路・公園の整備は、13 事業を実施しており、平成 28 年度までに 3 事業が完了し、平成 29 年度は 5 事業が完成した。

懸案となっていた(主)相馬亘理線の笠野地区においては、町役場及び住民との意見交換等により、変更計画の同意を得て用地取得に向けた作業に着手することができた。

復興交付金事業の進捗状況(H30.3月末)

		全体	完成	工事中		未着手	完成率 (%)	着手率 (%)	支払ベース	
				工事費	支払額				金額	進捗率 (%)
道路事業	箇所	9	6	3	—	0	67%	100%		
	金額(億円)	186.1	58.2	127.9	35.8	0	31%	100%	94.0	51%
街路事業	箇所	3	1	2	—	0	33%	100%		
	金額(億円)	89.6	6.5	83.1	61.8	0	7%	100%	68.3	76%
公園事業	箇所	1	1	0	—	0	100%	100%		
	金額(億円)	13.9	13.9	0	0	0	100%	100%	13.9	100%
全 体	箇所	13	8	5	—	0	62%	100%		
	金額(億円)	289.6	78.6	211	97.6	0	27%	100%	176.2	61%

平成 29 年度の完成箇所は、下記の 5 事業である。

(主)塩釜七ヶ浜多賀城線: 菖蒲田工区, (一)岩沼海浜緑地線: 二の倉工区,
(都)築港大通線: 港町工区, (一)荒浜港今泉線: 堤防部及び鳥の海工区

(一)岩沼海浜緑地: 二の倉工区

(一)荒浜港今泉線: 堤防部



②社会資本整備総合交付金(復興枠)事業

平成 29 年度は、道路事業で 14 箇所、河川海岸事業で 7 箇所を実施しており、
主な完成箇所は下記のとおりである。

(主)泉塩釜線東玉川交通安全, (主)利府松山線粕川大橋耐震補強,
(一)大和幡谷線石原災害防除, 七北田川改修 など

(主)利府松山線粕川大橋耐震補強

(一)大和幡谷線石原災害防除



(4) 東部土木事務所の業務支援

平成 28 年 9 月から、東部土木事務所における復旧・復興事業の推進を図るため、当事務所において、東松島市(旧鳴瀬町)分の災害復旧 9 事業(道路 1, 河川 1, 海岸 7), 復興道路事業 2 事業の計 11 箇所について業務支援を行っている。平成 29 年度の支援体制は、41 名(プロパー職員 33 名, 自治法派遣職員 7 名, 任期付職員 1 名)が東部土木事務所との兼務発令により対応しており、2 事業が完成した。

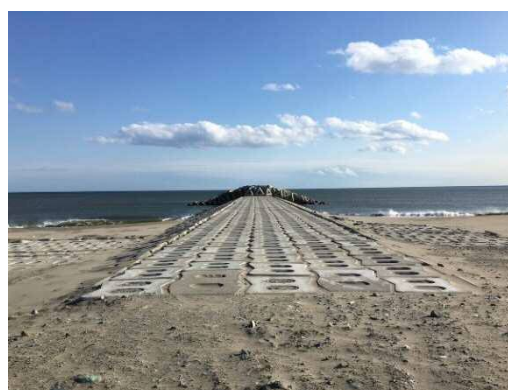
東部土木事務所の業務支援事業一覧表

工 種	事 業 名	事業区分	事業期間
道路	野蒜道路災害復旧事業	災害復旧	H30
	州崎道路改良事業	復興交付金	H32
	宮戸道路改良事業	復興交付金	H32
河川	東名運河	災害復旧	H30
海岸	州崎地先海岸	災害復旧	H32
	大曲地先海岸	災害復旧	H29完
	浜市地先海岸	災害復旧	H29完
	鰐ヶ淵地先海岸	災害復旧	H28完
	長石地先海岸	災害復旧	H30
	長浜地先海岸	災害復旧	H30
	東名地先海岸	災害復旧	H30

大曲地先海岸災害復旧事業



浜市地先海岸災害復旧事業



(5) 7年目の課題

○事業進行管理について

年度末に作成した復興工程表及びロードマップで示された工程を確実に実現できるよう、よりきめ細かな進行管理を行うよう取り組む必要がある。特に事業が進み用地隘路箇所や、関係機関との調整難航箇所などの懸案事項が顕在化しているため、所内及び主管課と常に進行管理の情報を共有し、解決に向け取り組んでいく。

○用地隘路箇所について

用地取得については、特に自治法派遣職員の懸命な努力もあり、今年度末で要取得筆数の96.6%まで取得することができた。

土地収用法による収用裁決申請については、今年度は申請実績はなかったが、復興交付金事業の(主)相馬互理線などで、多人数相続や事業反対などの難航案件があり、今後も任意交渉と並行して土地収用による取得を進める必要がある。

復旧・復興事業における用地取得状況

区分	要取得筆数	H27		H28		H29		H30以降 残数
		取得累計	取得率	取得水系	取得率	取得水系	取得率	
復旧事業	1,320筆	1,238筆	93.8%	1,307筆	99.0%	1,318筆	99.8%	2筆
復興事業	1,659筆	976筆	58.8%	1,499筆	90.4%	1,559筆	94.0%	100筆
合計	2,979筆	2,214筆	74.3%	2,806筆	94.2%	2,877筆	96.6%	102筆

○受注者との設計変更等難航案件について

部分的な工事一時中止や他事業との調整等による設計変更に伴い、中止期間中の費用や仮設工の増工等について、設計変更協議を行っているケースが多数あり、その調整が難航している工事箇所が発生している。

工事を進める上で、各受注者と意見交換会を開催し協議・調整を行うとともに、予算確保については主務課と連携を図りながら重要変更等の手続きを進めているところであるが、今後も工事の完成に向け同様に取り組む必要がある。

○入札不調について

年度内完成を目指し早期発注に努めていたが、上半期の入札不調が37%となり、事業の執行に大きな支障となった。特に復興道路整備などで発注した舗装工事は、上半期の不調率が53%となり繰越の大きな要因となっている。

また、27年災の河川災害復旧工事でも不調が多く発生し、発災から3年目の今年度末によろやく全ての災害箇所が契約に至った状況である。

次年度も、現場条件を考慮した適切な積算や、合併により発注ロットを大きくするなど、不調対策を図る必要がある。

道路施設の再生・復興状況の写真



着工前



① 塩竈七ヶ浜多賀城線 七ヶ浜町菖蒲田浜地内
避難路整備

完成



① 平成30年3月
道路改良 完成

着工前



② 築港大通線 塩竈市港町地内
市街地相互の接続道路及び避難路整備

完成



② 平成30年3月
道路嵩上 完成

着工前



③ 西川橋 大和町鶴巣大平地内
伸縮装置，支承の損傷，両橋台せん断破壊

施工中



③ 平成30年3月 現在
供用開始

着工前



④ 二ノ倉橋 岩沼市押分地内
避難路整備

施工中



④ 平成30年3月 現在
供用開始

着工前



⑤ 互理大橋 互理町荒浜地内
耐震補強工事

完成



⑤ 平成29年7月
P6巻立工完成

着工前



⑥ 荒浜港今泉線 亙理町荒浜地内
避難路整備

完成



⑥ 平成29年12月
供用開始

着工前



⑦ 山下停車場線 山元町山寺地内
避難路整備

施工中



⑦ 平成30年3月 現在
道路拡幅 施工中

着工前



⑧ 相馬亙理線 山元町坂元地内
橋梁整備

完成



⑧ 平成30年1月
橋梁上部工完成

河川・海岸保全施設の再生・復興状況の写真



着工前



① 川内沢川 岩沼市下野郷地内
河川堤防沈下

完成



① 平成30年2月
本復旧 完成

着工前



② 南貞山運河 岩沼市下野郷地内
河川堤防沈下決壊

完成



② 平成30年2月
本復旧 完成

着工前



③ 増田川 名取市小塚原地内
河川堤防沈下

完成



③ 平成30年2月
本復旧 完成

着工前



④ 菖蒲田海岸 七ヶ浜町菖蒲田浜地内
海岸堤防沈下欠壊

完成



④ 平成30年3月
本復旧 完成

着工前



⑤ 松ヶ浜海岸 七ヶ浜町松ヶ浜地内
海岸堤防沈下欠壊

完成



⑤ 平成30年3月
本復旧 完成

着工前



⑥ 花渚浜海岸 七ヶ浜町花渚浜地内
海岸堤防沈下欠壊

施工中



⑥ 平成30年3月 現在
本復旧 施工中

着工前



⑦ 七北田川 仙台市宮城野区蒲生地内
河川堤防沈下決壊

施工中



⑦ 平成30年3月 現在
本復旧 施工中

着工前



⑧ 南貞山運河(七北田川水系) 仙台市宮城野区蒲生地内
河川堤防沈下決壊

施工中



⑧ 平成30年3月 現在
本復旧 施工中

着工前



⑨ 朴島地区海岸 塩竈市浦戸野々島字朴島地先
海岸堤防復旧工事

施工中



⑨ 平成30年3月 現在
本復旧 施工中

着工前



⑩ 朴島地区海岸 塩竈市浦戸野々島字朴島地先
海岸堤防復旧工事

施工中



⑩ 平成30年3月 現在
本復旧 施工中

着工前



⑪ 朴島地区海岸 塩竈市浦戸野々島字朴島地先
海岸堤防復旧工事

完成



⑪ 平成30年3月
本復旧 完成

着工前



⑫ 朴島地区海岸 塩竈市浦戸野々島字朴島地先
海岸堤防復旧工事

完成



⑫ 平成30年3月
本復旧 完成

着工前



⑬ 野々島地先海岸 塩竈市浦戸野々島地内
海岸堤防復旧工事

完成



⑬ 平成30年3月
本復旧 完成

着工前



⑭ 五間堀川 岩沼市寺島（新浜橋）
河川堤防沈下欠壊

完成



⑭ 平成30年3月
本復旧 完成

平成29年度 復旧・復興カレンダー

6月1日 百々川排水機場の供用開始



一級河川田尻川と百々川合流点に整備していた、百々川排水機場が完成し、供用開始しました。洪水被害の低減が図られました。

6月 橋梁点検を実施



劣化の進行が早く、損傷状況の把握が遅れ、事後対応となるケースが生じていることから、職員による緊急点検を行いました。

8月23日 道路クリーンキャンペーン実施



宮城県建設業協会大崎支部と協働で『道路クリーンキャンペーン』を実施しました。一部の区間では、スマイルサポーターの皆さんと協働で作業を行いました。総勢100名の皆さんが参加されました。

平成29年12月～平成30年2月
土砂災害警戒区域の指定にかかる住民説明会を開催



土砂災害警戒区域等指定の手続きに先立ち、基礎調査が終了した地域において、説明会を開催しました。
12月26日 色麻町
1月25日 大崎市三本木
2月15日 大崎市松山
2月23日 大崎市鹿島台

2月16日 国道347号鍋越峠で防災訓練を実施



国道347号鍋越峠は、冬の気象条件が厳しく、また、一部区間においては、携帯電話が使用できないことから、万一の災害や事故発生時に備えて防災訓練を実施しました。

国道347号鍋越峠で職員による斜面点検を実施



国道347号鍋越峠においては、昨年度の1.7倍を超える積雪となったため、直営パトロール等による斜面点検を実施し、なだれの発生状況を監視しながら、道路開放を行っていました。

5月31日 渋井川災害関連事業が完了



関東・東北豪雨災害により甚大な被害を受けた、渋井川で事業を実施していた災害関連事業が完了し、出水期に備えることができました。

6月13日 出前講座を開催



大崎市松山老人福祉センターにおいて松山地区にお住まいの方を対象に、「河川を学ぼう」と題して、みやぎ出前講座を実施しました。講義では、宮城県内の河川の現況や河川法における河川の位置付け、水害を防ぐ取組について説明しました。

9月28日 管内市町合同現場研修会を実施



管内市町の職員と合同で現地研修会を実施し、職員のスキルアップを図りました。(主)岩沼蔵王線大師・姥ヶ懐工区のトンネル工事と、山元町における東日本大震災の復旧状況を見学しました。

12月18日～22日 災害査定



平成29年10月22日～10月23日にかけての台風21号の影響により、管内では12箇所(河川11、道路1)で被災がありました。また、12月18日～22日にかけて災害査定がありました。

2月 地域住民と連携した生活密着型の社会資本整備検討会を実施



(主)河南築館線 大崎市田尻大貫地区で地域の課題解決に向けて、地域住民が発案し、住民と連携した事業として「地域住民と連携した生活密着型の社会資本整備」をはじめました。

3月6日 スマイルサポーターとの意見交換会を開催



スマイルサポーターとの意見交換会を実施。今後の活動の参考となるよう活発な意見交換が行われました。

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

(1) 事務所の動き

平成27年9月の関東・東北豪雨による公共土木施設の災害復旧箇所は、166箇所へのぼり、平成28年度末までに42箇所が完了した。しかしながら、入札の不調等により工事契約が遅れた箇所においては、繰越工事となったものの、渋井川、名蓋川、渋川、田川、出来川等の河川堤防の決壊した区間の災害復旧工事を出水期前までに完成させることができた。

平成29年10月には、台風21号の豪雨による災害が発生。事務所一丸となって災害査定に臨み、特に若手職員のスキルアップに繋がった。

通年通行開始から2年が経過した、国道347号鍋越峠は、前年度と比較して約1.7倍の降雪量となり、直営パトロール等による斜面点検を実施し、雪崩の発生状況を監視しながら道路開放を行い冬期通行の安全性を確保した。

(2) 平成27年関東・東北豪雨災害復旧事業

災害復旧事業、全166箇所のうち、153箇所が平成29年度末までに完了する見込みである。入札不調等により着手が遅れた13箇所については、平成30年度に繰越しとなるが、早期復旧に努める。

平成30年3月末現在

	災害件数	契約件数				完了件数				
		平成28年度	平成29年度	計	契約率	平成28年度	平成29年度(見込み)			繰越予定
							平成30年1月末まで	平成29年度末	計	
河川	144	132	12	144	100.0%	25	69	39	108	11
砂防	8	6	2	8	100.0%	3	3	0	3	2
道路	14	14	0	14	100.0%	14	0	0	0	0
計	166	152	14	166	100.0%	42	72	39	111	13



下流部の浸水状況



(3) 大江川床上浸水対策特別緊急事業

一部用地が難航していたが、(都)稲葉小泉線と平行する人家連担部の用地買収を都計予算と合わせて執行するなど、効率的な用地取得を進め、事業の進捗を図った。

また、狭窄部となっていた JR 陸羽東線交差部においては、JR 東日本と協定締結し、平成 30 年度内に完成する見込みとなった。



現在施工中の JR 陸羽東線上流部



完成区間

(4) 国道 347 号通年通行化事業

冬期間は通行時の安全性を確保するため、12 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの期間は夜間通行止め(午後 7 時から翌朝 7 時)を行っているが、今年度は昨年の約 1.5 倍の降雪量となり、大雪や視界不良等により、延べ 12 日間(昨年 7 日間)の全面通行止めを余儀なくされた。

一方、雪崩発生危険性が高い斜面部においては、片側交互通行を行い、万が一に備えて雪堤を設置するとともに、斜面監視を行いながら道路開放を行った。

さらに、気温上昇に伴い雪崩発生危険性が高まったことから、斜面監視体制を強化するとともに交通開放時間を短縮し安全性を確保した。

また、非常電話にシェルターを設置し、人力での除雪が不要となったほか、冬期間も問題なく使用できるようになった。



降雪状況(前年度の約 1.7 倍)



職員による斜面点検状況



対策前



対策後

非常電話にシェルターを設置し、人力での除雪が不要となり、冬期間の使用も問題ない。

(5) 老朽橋梁対策

管内の県管理道路の橋梁 415 橋のうち、160 橋が建設から 50 年以上経過する老朽橋である。近年では、劣化の進行が早く、損傷状況の把握が遅れ、事後対応となるケースが生じていることから、過年度の点検における評価や経過年数を基準に 45 橋を選定、職員による緊急点検を行った。



点検状況



損傷状況（コンクリートが剥離し主筋が露出）

(6) 7 年目の課題

① 大江川床上浸水対策特別緊急事業の推進

平成 32 年度の事業完了に向けて、難航している用地取得を推進し、関連事業も含めた進行管理が必要。

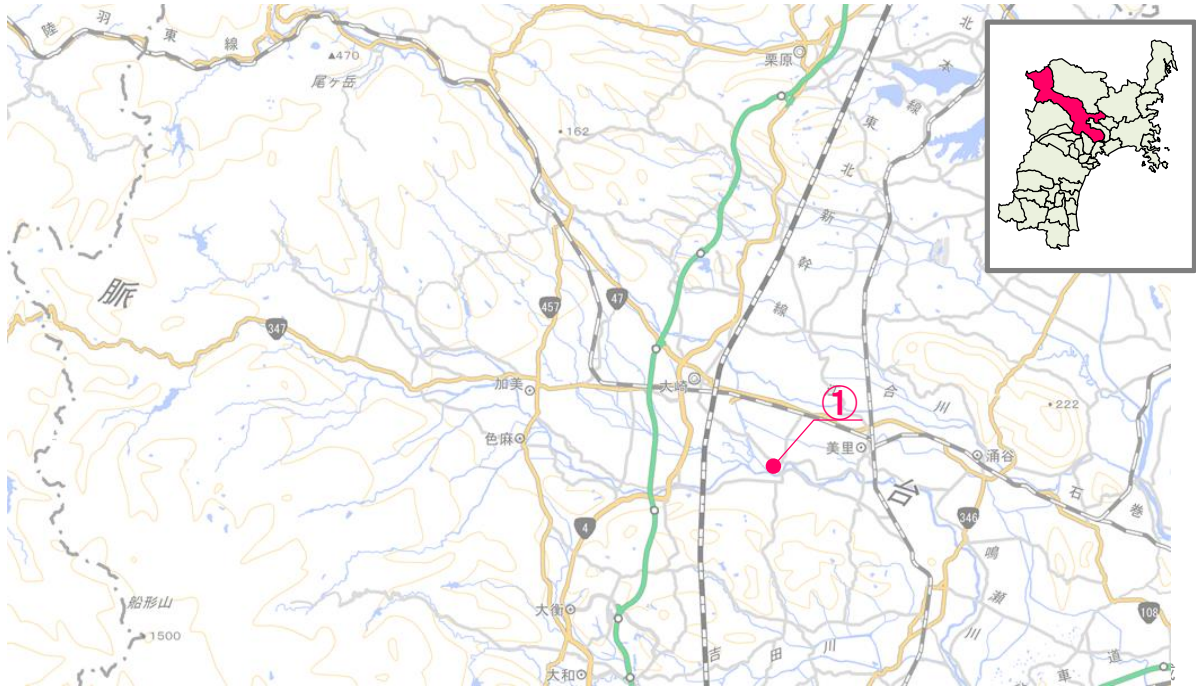
② 市のまちづくりと一体となった街路事業の整備推進

(都)並柳福浦線や(都)稲葉小泉線の早期工事着手に向け、用地取得を推進する必要がある。

③ 国道 347 号鍋越峠 冬期通行の安全性確保

職員直営のパトロールにより、雪崩発生、吹溜り及び施設の不足箇所等危険箇所の特定制業を進めている。優先順位を整理し、来シーズンに備え対策工事を行うことが必要。

道路施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



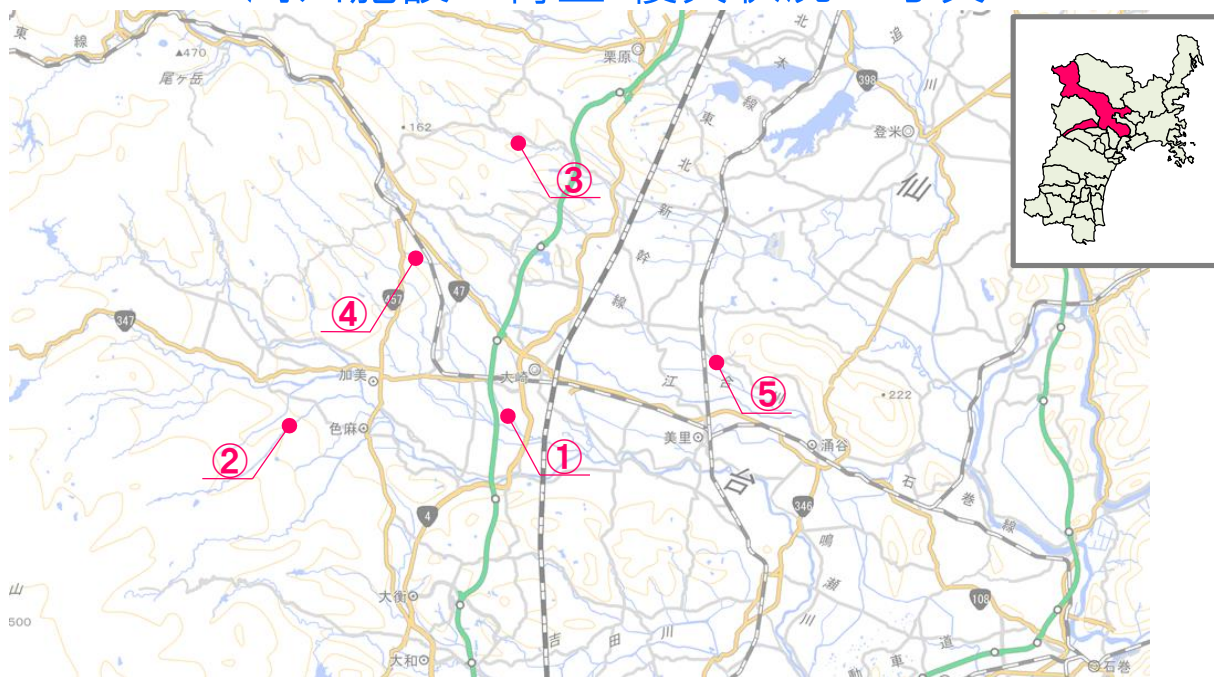
① (主) 古川松山線 大崎市下中目地内
志田橋旧橋撤去工事

完成

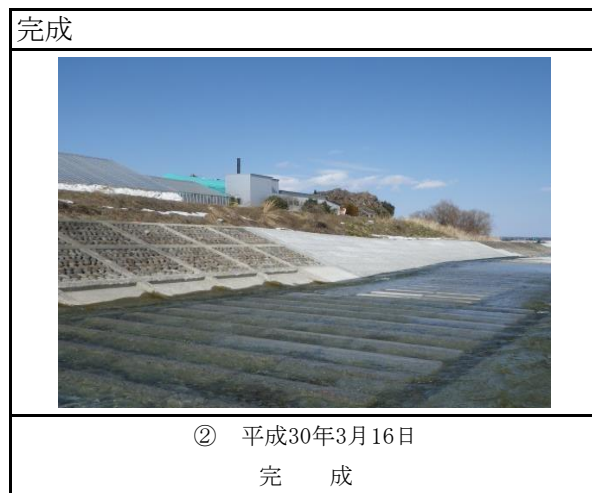
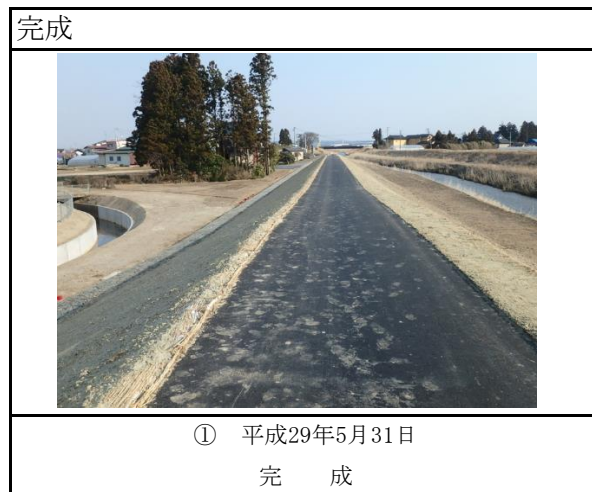
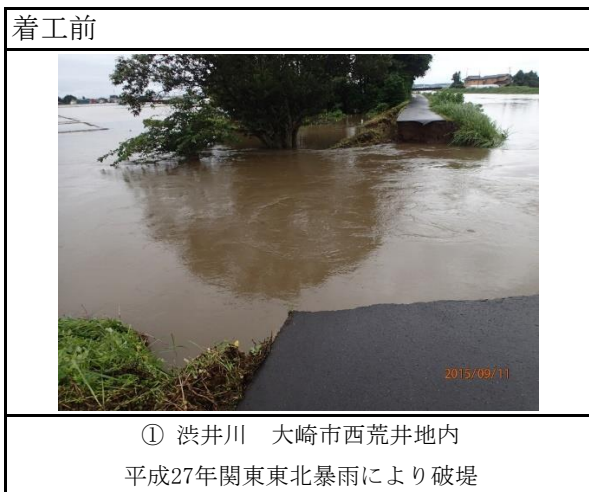


① 平成30年3月23日
完成

河川施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載



着工前



③ 一級河川吉野川 大崎市岩出山下真山地内
吉野川河川災害復旧工事

完成



③ 平成29年7月31日
完 成

着工前



④ 一級河川蛭沢川 大崎市岩出山下野目地内
河道掘削工事

完成



④ 平成29年7月31日
完 成

着工前



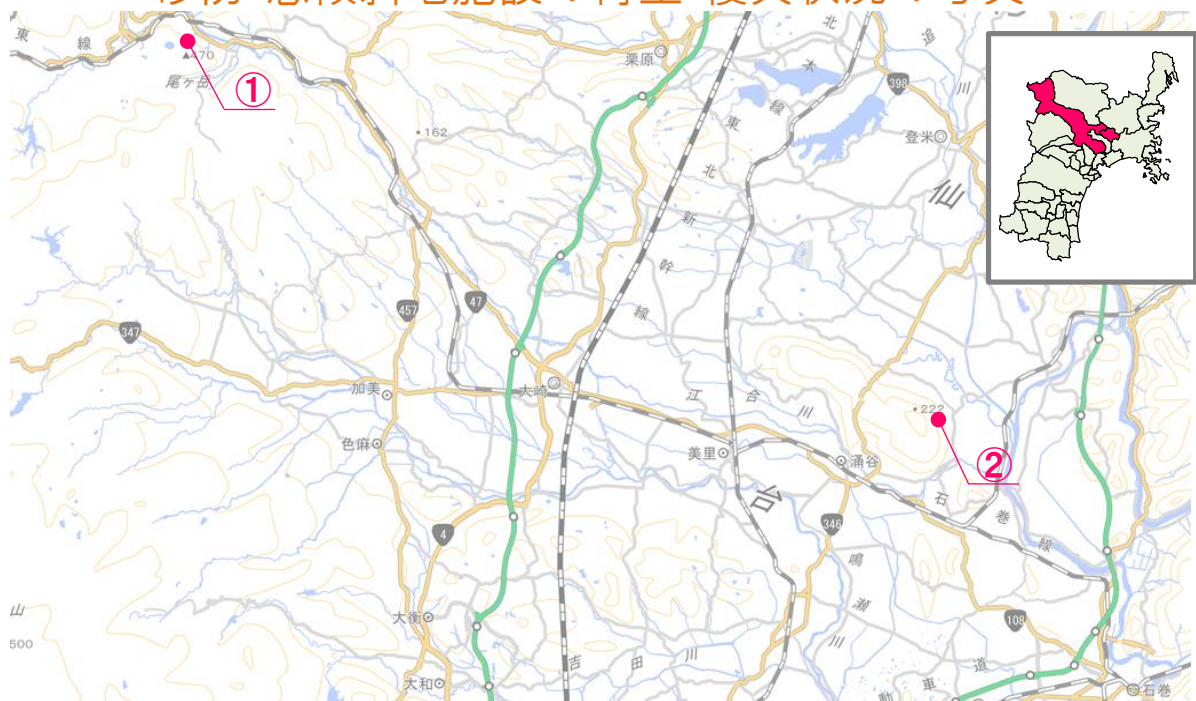
⑤ 一級河川百々川 大崎市田尻大沢地内
百々川排水機場工事

完成



⑤ 平成29年7月31日
完 成

砂防・急傾斜地施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



①一級河川北上川水系江合川支川 鷺の巣沢
大崎市鳴子温泉字中野地内

完成



① 平成30年3月23日
完成

着工前



②一級河川北上川水系旧迫川支川 川畑沢
遠田郡涌谷町猪岡短台地内

完成



② 平成29年12月15日
完成

北部土木事務所栗原地域事務所

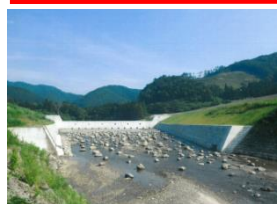
平成29年度 復旧・復興カレンダー

4月21日 冬期通行止め解除 国道398号開通式



国道398号と(主)築館栗駒公園線の冬期閉鎖区間が開通し、国道398号では、栗原市と秋田県湯沢市の共催により、花山温泉ゲート前で開通式が開催されました。
 なお、(一)岩入一迫線は、28日に冬期閉鎖区間が開通しました。

7月31日 迫川小川原砂防堰堤工事の完成



平成20年6月の岩手・宮城内陸地震では、山地斜面の崩壊により、不安定な土塊が渓床に堆積し、流出の危険性がありました。平成24年度より整備を進めてきた迫川上流域の小川原砂防堰堤工事が完成し、下流への土砂流出防止対策の推進が図られました。

8月9日 一級河川荒川改修事業と(主)築館登米線萩沢道路改良事業の用地説明会を開催

洪水時の氾濫防止と安全な通行確保を図るため、荒川改修と県道築館登米線改良事業の用地説明会を開催しました。関係地権者の了解が得られ、用地取得を推進し、年度内に工事を発注しました。



10月3日 みやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期(築館工区)後沢本線橋上部工主桁の架設完了



NEXCO東日本に委託の東北自動車道を跨ぐ後沢本線橋上部工は、築館1C～若柳金成1Cを夜間通行止めにして、国内に数台しかない1,250t級クレーンにより一括架設が行われました。大型構造物の整備として、工区最大の難工事を無事完了することができました。

11月30日 国道398号湯沢スノーシェッド本体工事が完了

冬期閉鎖区間に位置する「なだれ沢」は、春先に雪崩が発生しやすいため冬期閉鎖解除の障害となっていました。平成26年度より整備を進めてきたスノーシェッド本体が完了し、春先の安全確保に向けた取組みを推進させました。



1月23日～25日 土砂災害防止法に基づく基礎調査結果説明会の開催



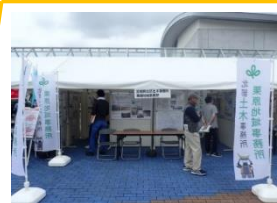
土砂災害警戒区域等の早期指定に向け、基礎調査が完了した築館や栗駒地区等の19箇所について住民説明会を開催しました。
 説明会の箇所を含め、今年度は89箇所が土砂災害警戒区域等に指定されました。

3月14日 みやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期(築館工区)萩沢前1号本線橋上部工主桁の架設完了

平成28年度より整備を進めてきた萩沢前1号本線橋の上部桁架設が完了しました。引き続き、平成30年度供用開始に向け、整備の推進を図ります。



6月18日 栗原市総合防災訓練への参加



平成20年岩手・宮城内陸地震等の経験と教訓を後世に伝え、大災害に備えるとともに、被害の未然防止や軽減を図る目的で防災訓練を実施しています。当事務所では、平成27年9月の関東・東北豪雨被害や復旧状況、土砂災害防止に向けた取組み等をパネル展示し、市民への防災意識の醸成を図りました。

8月17日 栗駒有賀沢急傾斜地対策工事の完成

平成25年7月の豪雨で斜面が崩壊した栗駒有賀沢地区において、再度災害の防止と地域の安全・安心の確保を図るため、平成26年度より進めてきた急傾斜地崩壊対策工事が8月に完成しました。



8月18日 道路ふれあいキャンペーンの実施



当事務所と宮城県建設業協会栗原支部より約100名が参加し、県管理道路の清掃作業や街頭にてドライバーへのチラシ配布等の活動を行いました。
 栗原支部では昭和63年から実施しており、今年で29回目となりました。

10月18日 くりこま絆の森植樹プロジェクトの実施

平成20年6月14日の「岩手・宮城内陸地震」に伴い、大規模な土砂災害に遭った耕英東地区において、緑地再生と堆積土砂の流出防止を図るため、平成25年より地域住民や関係団体等による植樹活動を実施しております。今年度は約100名が参加し、カツラやミズナラなどの苗木を植樹しました。



12月25日 迫川若柳狭窄部の旧堤防撤去が完成

長沼ダム完成に併せ平成24年度より着手した迫川の若柳大橋上流における旧堤防撤去が完成しました。引き続き、上流域の河道掘削を推進し、流域の治水安全度向上を図ります。



1月31日 一般県道大鳥沢辺線稲屋敷交差点改良の完成



栗駒稲屋敷地区内は、一般県道大鳥沢辺線など3路線が集まる要衝ですが、幅員が狭いため車両のすれ違いが困難な状況でしたが、交差点改良により、安全で円滑な通行が確保されました。

1月31日 河川工事で発生した伐採木の一般提供の再開



東日本大震災に伴う福島第1原発事故以降、放射性物質の影響を懸念し休止していた伐採木の一般提供について、放射能調査結果が基準値を下回ったため一般提供を再開しました。ホームページ等で広報したところ、20件を超える申込みがありました。



(1) 事務所の動き

平成 29 年度の北部土木事務所栗原地域事務所については、道路や河川、砂防施設の整備及び維持管理、災害復旧事業等に取り組んでいる。

事業について、平成 29 年度事業費は、現年予算 49 億円と繰越 17 億円の合計 66 億円である。道路では、「みやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期区間」(築館工区)や県際道路、緊急輸送路等の整備により、防災道路ネットワークの形成及び機能強化、観光・交流の促進を図っている。河川では、「災害に強い川づくり緊急対策事業アクションプラン」による迫川等の治水対策、砂防では、砂防堰堤や急傾斜地崩壊対策等の整備のほか、土砂災害警戒区域等の早期指定に向けた基礎調査など、地域の安全・安心の確保に向けた取組みを推進している。また、平成 27 年 9 月の関東・東北豪雨や平成 29 年 10 月の台風 21 号による被災箇所の早期復旧が急務である。

「宮城県震災復興計画」及び「宮城県社会資本再生・復興計画」における「再生期」の最終年であり、今後の「発展期」に向け、栗原地域の発展・振興を支える社会資本整備について着実に推進していく。

(2) 通常事業

①「災害に強い川づくり緊急対策事業アクションプラン」など治水対策等の推進による総合的な防災力の強化

○河川事業

度重なる洪水被害を受けてきた現状を踏まえ、「災害に強い川づくり緊急対策事業アクションプラン」に基づき、河道掘削や築堤等の整備を推進している。

迫川では、若柳狭窄部における旧堤撤去の完了及び上流域の河道掘削を実施し、掘削土の活用による二迫川の築堤を推進した。荒川では、越水による冠水被害が頻発する(主)築館登米線との兼用堤区間 850mについて、河川改修と道路改良に向けた用地取得の推進及び一部工事に着手した。照越川では流下能力確保に向けた河道拡幅、小山田川では脆弱な堤防の強化を推進した。



迫川若柳狭窄部の旧堤撤去完了



荒川越水による冠水状況(H27.9月)と改修区間

維持管理については、迫川や長崎川をはじめ、10 河川で堆積土砂撤去や支障木伐採を実施し、流水阻害の改善を図った。なお、伐木については、福島第1原発事故以降の放射性物質の影響を懸念し休止していた一般提供を、放射能試験結果が基準値を下回ったことが確認できたため再開した。

災害時の円滑かつ迅速な情報伝達に向け、5月の洪水対応演習、8月には栗原市長とのホットライン訓練を実施した。また、6月には栗原市総合防災訓練に参加し、過去の水害や洪水時の情報収集に向けたパネル展示を行い、住民への防災意識の啓発・醸成を図った。

○砂防事業

平成20年6月の岩手・宮城内陸地震に伴う斜面崩壊により、溪床に堆積した土砂の流出防止を図るため整備を進めてきた迫川小川原砂防堰堤が7月に完成した。

平成25年7月の豪雨で斜面が崩壊した栗駒有賀沢地区の急傾斜崩壊対策工事が8月に完了した。また、鶯沢北沢向地区における急傾斜地崩壊対策、5月の林野火災で焼失した築館本木地すべり防止区域における土砂災害防止対策に着手した。



迫川小川原砂防堰堤完了(H29.7月)



有賀沢急傾斜地崩壊対策工事完了(H29.8月)

土砂災害警戒区域等の早期指定に向け、基礎調査を144箇所実施するとともに、昨年度基礎調査が完了した89箇所が区域指定された。

平成29年度区域指定箇所内訳(H30.3月23日現在)

地区名 (旧町村名)	土砂災害警戒区域指定箇所数			
	土石流 危険渓流	急傾斜地崩 壊危険箇所	地すべり 危険箇所	計
築館	4	8	0	12
栗駒	47	15	0	62
鶯沢	13	2	0	15
合計	64	25	0	89

土砂災害危険箇所における区域指定・基礎調査実施状況(H30.3月23日現在)

	土石流危険箇所				急傾斜地危険箇所				地すべり 危険箇所	合計
	I	II	III	計	I	II	III	計		
栗原管内箇所数	67	193	0	260	54	180	12	246	12	518
基礎調査済数	67	161	0	228	54	153	7	214	11	453
区域指定済数	66	89	0	155	53	75	2	130	10	295
未調査箇所数	0	32	0	32	0	27	5	32	1	65

さらに、6月の土砂災害防止月間では、関係機関と連携してパトロールを実施し、斜面状況の把握とともに緊急時の避難等、住民へ防災に関する意識の啓発を図った。

②国道 398 号冬期閉鎖区間の早期解除に向けた対策

県内有数の豪雪地帯であり、冬道の安全確保が困難なため、花山温湯地区から秋田県境までの 14.4km 区間は冬期間通行規制(通行止め)を行っている。

当路線は、両県の災害時の連携や観光振興・交流促進等を担うため、春先の早期解除を強く要望されている。このため、春先に雪崩発生危険箇所である「なだれ沢」において、雪崩対策としてスノーシェッド整備を進め、昨年 11 月に本体工事が完了した。

引き続き、その他危険箇所において、斜面や植生状況等を確認しながらスノーシェッド整備を推進していく。また、予備除雪を2月から実施し、円滑な除雪作業に向けた作業路の確保を図った。



湯浜「なだれ沢」スノーシェッド本体完了

③平成 27 年 9 月関東・東北豪雨などによる被災箇所の早期復旧に向けて

平成 27 年 9 月関東・東北豪雨の災害復旧については、被災箇所 196 箇所のうち 191 箇所が完了した。残り 5 箇所は関係機関等との調整等により、やむなく次年度完了の予定である。

平成27年9月災害進捗状況(H30.3月末現在)

	金額:百万円												備 考
	全体				完了分				施工中				
	補助		単独		補助		単独		補助		単独		
箇所	決定額	箇所	予算額	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額		
道路	12	194	18	20	12	194	18	20	0	0	0	0	
橋梁	1	310	0	0	0	0	0	0	1	310	0	0	熊川橋(R457号)
河川	143	1,653	21	23	139	1,568	21	23	4	85	0	0	三迫川
砂防	1	39	0	0	1	39	0	0	0	0	0	0	
小計	157	2,196	39	43	152	1,801	39	43	5	395	0	0	
合計	196	2,239	100.0%		191	1,844	82.4%		5	395	17.6%		

平成 29 年 10 月の台風 21 号では、三迫川など 5 河川 8 箇所が被災した。年内に災害査定が終了したことから 1 月に発注し、早期復旧を目指し工事を推進していく。

台風21号による被災箇所一覧表

河川名	被災箇所	状況	延長 (m)	復旧概要
瀬峰川	瀬峰小深沢(1)	法欠	16.0	ブロック積工 34m ²
瀬峰川	瀬峰小深沢(2)	法欠	175.3	かごマット工 356m ²
三間堀川	若柳川南子々松	法欠	18.0	かごマット工 54m ²
三間堀川	若柳南袋	法欠	8.0	かごマット工 20m ²
金流川	金成赤児(1)	法欠	7.5	ブロック積工 25m ²
金流川	金成赤児(2)	法欠	22.0	かごマット工 33m ²
三迫川	栗駒猿飛来	法欠	17.0	連節ブロック張 136m ² , 袋詰玉石工 49袋
照越川	築館照越	法欠	4.0	<県単災害>かごマット工 12m ²

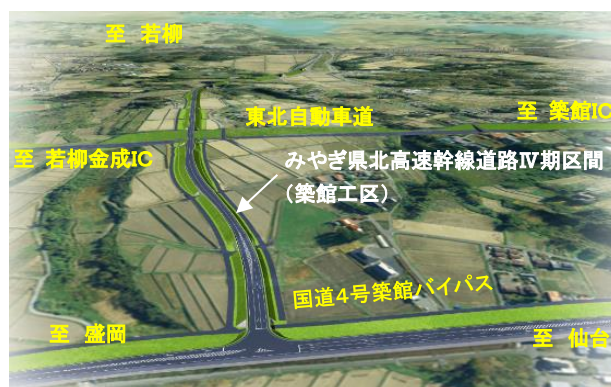
(3) 復興事業

沿岸部の三陸自動車道と内陸部の東北自動車道を結び、復興支援や圏域間の交流促進、災害時の救援路としての役割を担う広域幹線道路として、「みやぎ県北高速幹線道路IV期区間」(築館工区)の整備を平成25年度より実施し、国道4号築館バイパスへの接続工事をはじめ、改良工事については平成29年度内に全て発注した。また、橋梁4基のうち2基が完了し、残り2基についても下部工まで完了した。

平成30年度は、舗装工事等を早期発注し、年度内の供用開始を目指す。



後沢本線橋上部桁の架設状況



完成予想図(国道4号BPから若柳方向を望む)

(4) 7年目の課題

①「みやぎ県北高速幹線道路IV期区間」(築館工区)の整備

早期発注及び工程管理と安全対策の徹底とともに、国や警察など関係機関との調整を図り、平成30年度供用開始に向け着実に推進させる。また、東北自動車道への接続について、道路課と連携し確実に対応していく。

②迫川若柳工区の河道掘削及び二迫川堤防整備の推進

迫川若柳工区の河道掘削、二迫川における堤防用地取得の推進と、迫川の掘削

土を活用した築堤整備など、上下流一体となった治水対策を推進する。

③国道 398 号冬期閉鎖の早期解除

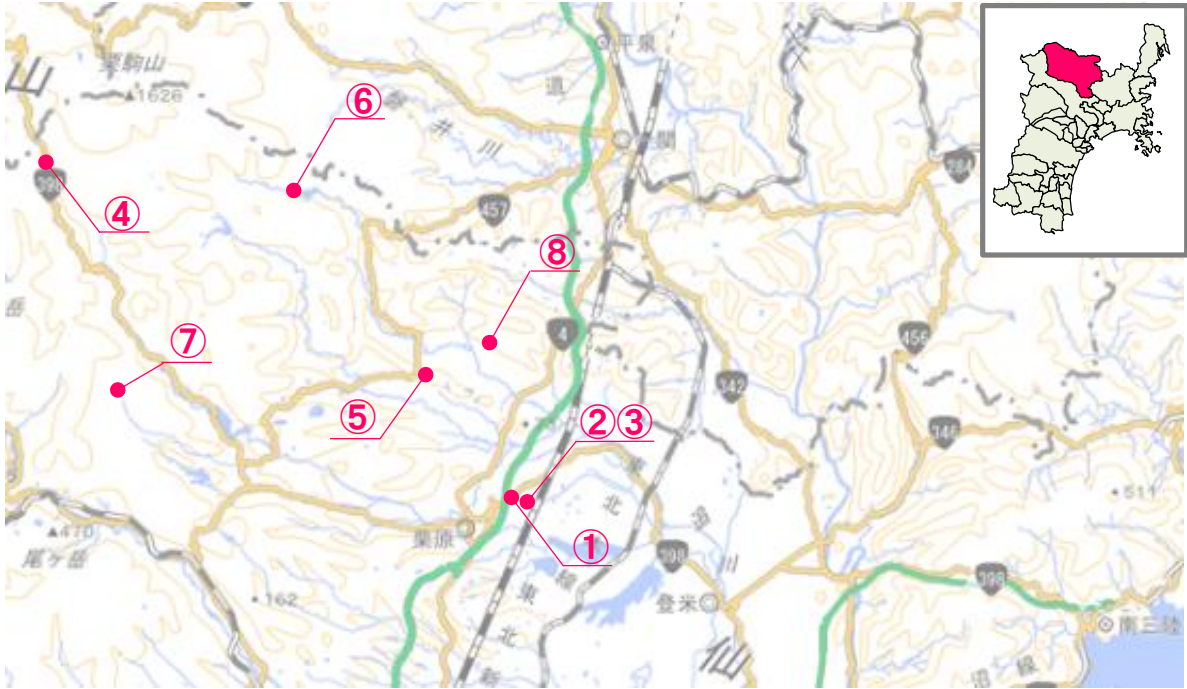
冬期閉鎖の早期解除を目指し、引き続き雪崩危険箇所における雪崩防止対策としてスノーシェッドを整備していく。

また、早期閉鎖解除に向け、斜面や植生状況等の把握、過去の気象データや雪崩危険箇所における懸案事項、対応状況等を資料収集し、早期解除に向けた留意事項や安全確保対策を継続して検討していく。

④適正な河川の維持管理

度々洪水被害に遭ってきた管内河川において、流下能力や沿川状況等を考慮し、支障木伐採や堆積土砂撤去等を着実に推進し、適正な維持管理に努めていく。

道路施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



① みやぎ県北高速幹線道路 栗原市築館萩沢前地内
後沢本線橋

完成



① 平成29年12月
完成

着工前



② みやぎ県北幹線道路 栗原市築館萩沢前地内
萩沢前1号橋

完成



② 平成30年3月
完成

着工前



③ みやぎ県北幹線道路 栗原市築館萩沢忽滑沢地内
萩沢忽滑沢本線橋

完成



③ 平成30年3月
完成（下部工）

着工前



④ 国道398号 栗原市花山湯浜地内
湯浜スノーシェッド

完成



④ 平成29年11月
完成

着工前



⑤ （一）大鳥沢辺線 栗原市栗駒稲屋敷地内
稲屋敷道路改良

完成



⑤ 平成30年1月
完成

着工前



⑥ (主) 築館栗駒公園線 栗原市栗駒沼倉地内
沼倉災害防除

完成



⑥ 平成29年11月
完成

着工前



⑦ (一) 岩入一迫線 栗原市花山草木沢地内
草木沢災害防除

完成



⑦ 平成29年9月
完成

着工前



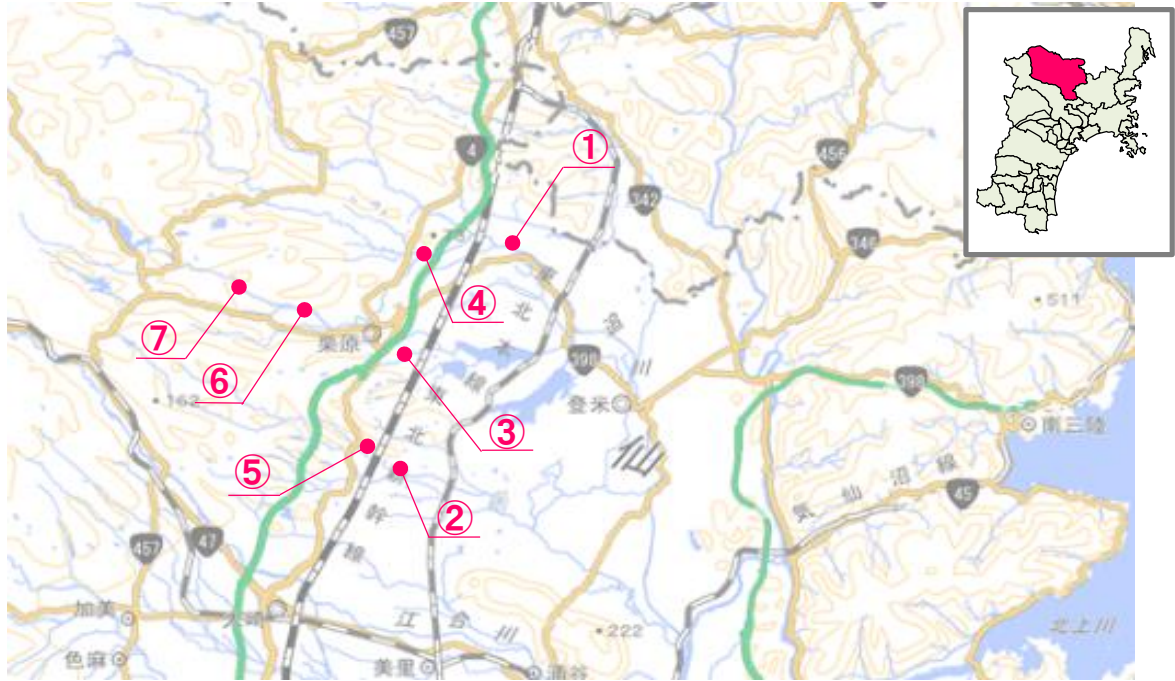
⑧ (一) 油島栗駒線 栗原市金成津久毛地内
津久毛舗装補修

施工中



⑧ 平成30年1月
完成

河川施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



① 迫川 栗原市若柳川南地内
迫川河川改修（若柳工区）

完成



① 平成29年12月
完成

着工前



② 小山田川 栗原市瀬峰西原前地内
小山田川河川改修

完成



② 平成30年3月
完成

着工前



③ 照越川 栗原市築館照越地内
照越川河川改修

施工中



③ 平成30年3月
施工中（河道掘削状況）

着工前



④ 迫川 栗原市志波姫刈敷蔵場地内
迫川支障木伐採

完成



④ 平成30年3月
完成

着工前



⑤ 善光寺川 栗原市高清水佐野地内
善光寺川堆積土砂撤去

完成



⑤ 平成30年3月
完成

着工前



⑥ 迫川 栗原市一迫曾根地内
平成27年 河川災害復旧工事

完成



⑥ 平成29年12月
完成

着工前



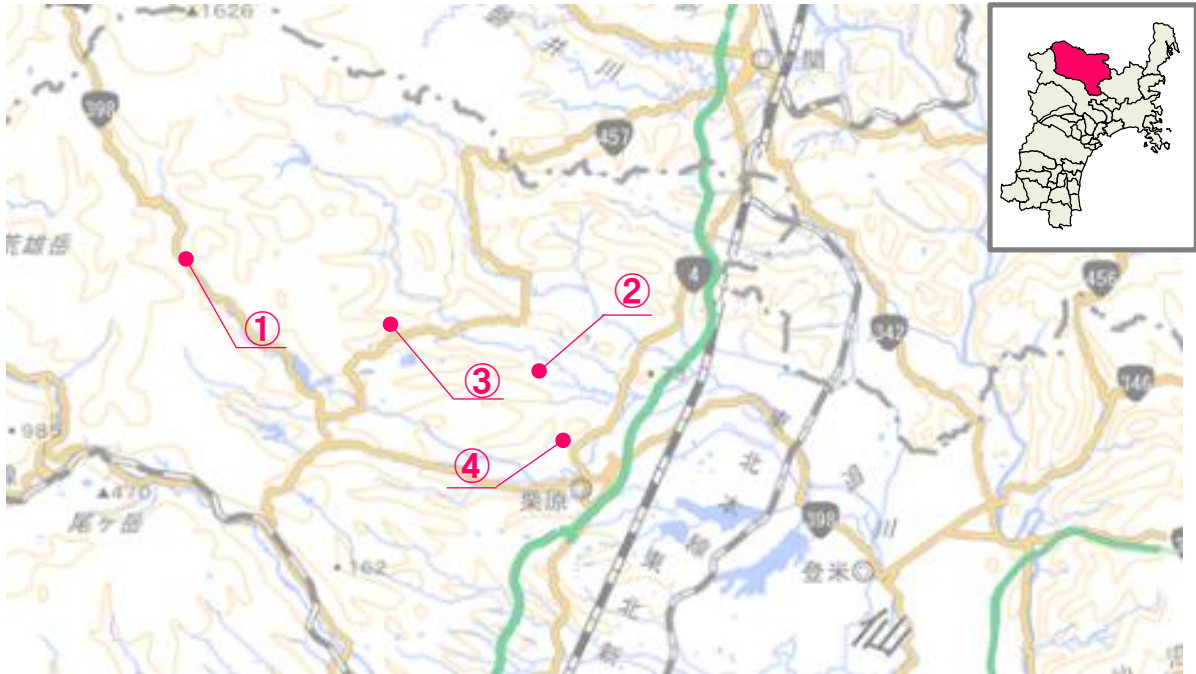
⑦ 迫川 栗原市一迫川内地内
平成27年 河川災害復旧工事

完成



⑦ 平成30年3月
完成

砂防・急傾斜地・地すべり防止施設の再生・復興状況の写真



国土地理院の電子地形図に位置を追記して掲載

着工前



① 迫川 栗原市花山本沢小川原地内
小川原砂防堰堤

完成



① 平成29年7月
完成

着工前



② 有賀沢 栗原市栗駒桜田蛇壇地内
有賀沢急傾斜地崩壊対策

完成



② 平成29年8月
完成

着工前



③ 北沢向 栗原市鶯沢北沢向地内
北沢向急傾斜地崩壊対策

完成



③ 平成30年2月
完成

着工前



④ 本木 栗原市築館下宮野地内
本木土砂災害防止対策

施工中



④ 平成30年3月
施工中（法面掘削状況）